

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月13日			
平成15年度	事業コード	150 05	電話	
担当部課名	生涯学習部	生涯学習	課	相模原市民ギャラリー
事務事業名	相模原市民ギャラリー運営費〔自主企画展経費〕			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 6 章	彩りのある市民文化の創造	事業開始年度
基本施策名	第 1 節	多彩な市民文化の振興	9 年度
施策名	第 1 施策	豊かな市民文化の創造	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市立相模原市民ギャラリー条例、相模原市立相模原市民ギャラリー条例施行規則、美術専門員設置要項、相模原市立相模原市民ギャラリー運営協議会設置要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

あり

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市民に優れた美術作品の鑑賞機会を提供することにより、本市の芸術文化のさらなる振興を図る機会とする。	一般市民
	対象数 61万人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
自主企画展「～秋慕～竹久夢二展」の開催 平成14年11月2日～12月8日(32日間) 入場者数7,899人	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)					
				12	13	14	15	16	
	1日あたりの平均入場者数(人)	合計入場者数÷開催日数	平均入場者数の推移を見る。	194	88	247	150	150	
	活動指標	総事業費に対する観覧料等収入の割合(%)	(観覧料・図録収入)÷総事業費×100	総事業費に対する観覧料等収入の占める割合を見る。	14	6	20	19	19

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	8,444	8,207	8,330	7,743	7,000
	人員・時間数	1人	0.7人	0.7人	0.8人	0.8人
	人件費	5,595	4,196	4,196	3,358	3,917
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	14,039	12,403	12,526	11,101	10,917
特定財源		1,238	522	1,721	1,470	1,470
対象数		610,000	610,000	610,000	610,000	610,000
対象の単位あたり経費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	本事業は相模原市民ギャラリー - の核としての事業であり、市民の期待・要望の最も高い事業である。展覧会の企画次第で高い市民ニーズに応えることができ、更なる達成度の向上が図れる事業である。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある (1)市民要望としては、より有名な作家・作品の展覧会を望む声が高く必要度の高い事業である。 (2)身近でより高品位な展覧会を望む声は非常に高くより一層の充実が必要である
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	・当市の美術活動振興策の一環として非常に有効な事業であり、更に積極的なPR活動に努めるべき事業である。
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 同展覧会の一般的な開催費用と比較し、大幅なコストダウンを可能とすることができた。
(5)公平性 評価 B ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	観覧料の設定は、地域性を考えて適正な設定である。しかし、減免対象の範囲や小人料金の設定について見直す余地はある。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： ・より効果的な広報活動の推進による入場者数の増加	手段	報道機関への情報提供のほか、JR・路線バスへのポスター掲示等、職員努力と民間の協力により事業費の削減を図りながら広報効果の増大を狙う
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		美術館を持つ他自治体とは単純に比較はできないが、相互に作品の貸し借りをするなどの協力体制にあり、内容的にも遜色のないものと思われる。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	(1)当該事業は[相模原市民ギャラリー - 条例]に規定された事業であり、相模原市民ギャラリー - の「核」としての事業である。
<input type="checkbox"/>	廃止	(2)当事業に対する市民の要望・期待は大変高く、更なる充実を望む声は関係団体からも強く寄せられている。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	(3)今後もより高品位で話題性と集客性の高い内容とすべく更なる充実を図るべき事業であると思料する。

12 二次評価コメント

--